

中期経営計画「SX2030 ~1st Stage~」の概要

ヤマトグループは、経営理念に掲げる「豊かな社会の実現」への貢献を通じた持続的な企業価値の向上を実現するため、「持続可能な未来の実現に貢献する価値創造企業」を2030年の目指す姿として定め、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画「サステナビリティ・トランスフォーメーション2030 (SX2030) ~1st Stage~」に基づく取組みを推進しています。

SX2030 ~1st Stage~の目標

▶ 財務目標

分類	項目	2024年3月期 実績	2027年3月期 目標
経営成績	営業収益	1兆7,586億円	2兆~2兆4,000億円
	営業利益	400億円	1,200億~1,600億円
	経常利益	404億円	1,200億~1,600億円
	親会社株主に帰属する当期純利益	376億円	800億~1,000億円
収益性	営業利益率	2.3%	6%以上
	ROIC	4.2%	8%以上
効率性	ROE	6.3%	12%以上

▶ 非財務目標

マテリアリティ	指標	2024年3月期実績	2027年3月期目標
環境	エネルギー・気候		△25%
	GHG排出量*1の削減率 (2021年3月期比)	△11%	Scope3排出量削減目標設定
	再生可能エネルギー由来電力使用率	37%	70%
社会	人的生産性*2	1.34	労働生産性の向上
	労働	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすさ 66% 働きがい 60% 働き続けたい 68% 社員の成長実感 64% 会社への貢献実感 66% 	エンゲージメントの向上
	人権・ダイバーシティ	障がい者雇用率 3.1%	3.1%
	女性管理職(役職者)比率	5.9%	10%
ガバナンス	安全・安心	対人交通事故件数 2020年3月期比 △26%	2024年3月期比 △15% *3
	休業災害度数率	2020年3月期比 +4%	2024年3月期比 △15% *3
	データ活用・セキュリティ	情報セキュリティ重大事故件数 0件	0件
サプライチェーンマネジメント	主要なビジネスパートナーの行動規範順守への賛同取得率	—	100%
ガバナンス	取締役会の実効性向上と株主・投資家との対話・情報開示の充実		

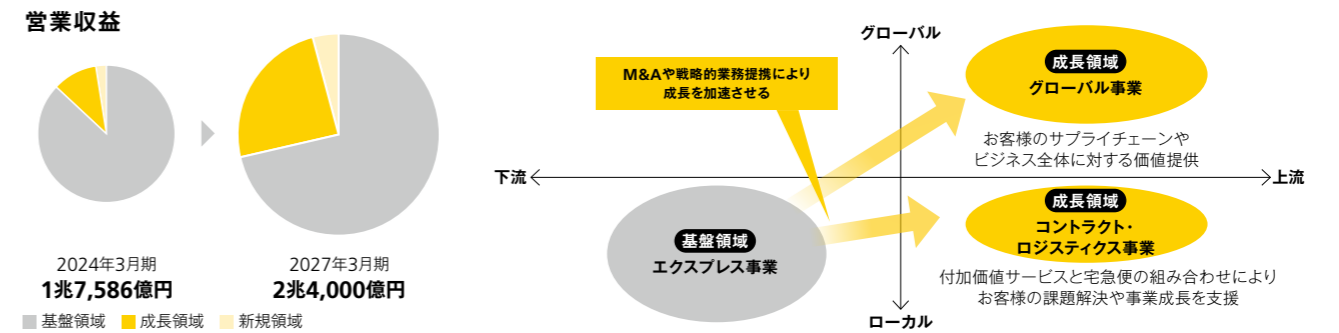
*1 国内連結会社および(株)スワンのScope1とScope2 *2 (連結営業収益ー連結下払経費)÷連結人件費 *3 ヤマト運輸(株)対象非財務目標の詳細は、P44~ サステナブル経営をご参照ください。

主要施策

- 基盤領域** 宅急便ネットワークの強靱化と提供価値の拡大
 - サービスラインアップの拡充
 - プライシング戦略の強化
 - ネットワーク・オペレーション構造改革
- 成長領域** 法人ビジネス領域の拡大
 - 法人顧客のサプライチェーン変革支援
 - M&Aや提携による事業の拡大
- 新規領域** 新たなビジネスモデルの事業化
 - 多様化する顧客や社会のニーズに対応
 - 既存経営資源の活用
 - 多様なパートナーとの協創



▶ 事業ポートフォリオの変革



▶ SX2030 ~1st Stage~の投資計画：4,000億円 (M&Aを除く)

	3年投資額	案件	目的
成長投資 2,000億円	1,400億円	拠点戦略	生産性の向上と固定費の削減、働きやすい職場環境構築
	500億円	DX推進	オペレーションの刷新による生産性向上、顧客への提供価値向上
	100億円	新規事業	将来の事業成長と持続可能な未来に資する新たな事業創出
環境投資 800億円	400億円	EV3,250台*・充電設備	低炭素社会の実現や、法人顧客に対する環境負荷の少ない物流サービス提供
	400億円	太陽光発電・蓄電池等	
経常投資 1,200億円	500億円	宅急便既存拠点の改修・内燃車等	既存ネットワーク維持
	700億円	その他拠点、既存システムの改修等	既存事業維持等

* EV導入計画8,500台(投資3,250台、オペレーティングリース5,250台)